



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,952	15.6	79	—	41	—	94	61.5
25年3月期第2四半期	1,688	12.2	△39	—	△76	—	58	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	9.08	—
25年3月期第2四半期	5.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,604	802	12.2	19.42
25年3月期	6,546	707	10.8	10.34

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 802百万円 25年3月期 707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	9.7	50	—	△35	—	35	61.3	3.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	10,453,920株	25年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	17,221株	25年3月期	17,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	10,436,850株	25年3月期2Q	10,437,222株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—			
26年3月期(予想)			—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による財政金融政策等による円高の是正と株高の進行を主因に、企業収益や個人消費が改善に向かうなど緩やかな回復基調となりました。しかしながら、米国の財政を巡る議会对立や欧州の債務問題、新興国の経済成長の鈍化など不透明な状況は依然として続いております。

リゾートホテル業界におきましては、個人消費の改善等により海外・国内旅行とも増加しているものの、太平洋沿岸地域においては地震への不安や放射能汚染等の風評被害は依然として残り、厳しい状況にあります。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の回復を主要課題として諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の営業収益は1,952百万円（前年同四半期比15.6%増）となり、営業利益は79百万円（前年同四半期は39百万円の損失）、経常利益は41百万円（前年同四半期は76百万円の損失）となりました。

また、四半期純損失につきましては、特別利益として東京電力株式会社による受取補償金を計上したことにより、四半期純利益は94百万円（前年同四半期比61.5%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ58百万円増加し、6,604百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ120百万円増加し、1,041百万円となりました。これは主に、未収入金が77百万円減少したものの、現金及び預金が194百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ62百万円減少し、5,562百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が35百万円増加したものの、建物が90百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ24百万円減少し、5,049百万円となりました。これは主に、買掛金が31百万円増加したものの、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が50百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ11百万円減少し、752百万円となりました。これは主に、長期預り保証金が5百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ94百万円増加し、802百万円となりました。これは主に、四半期純利益94百万円の計上によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ194百万円増加し、744百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は320百万円（前年同四半期に比べ143百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益106百万円に、減価償却費121百万円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は75百万円（前年同四半期に比べ58百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産77百万円の取得による支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は50百万円（前年同四半期に比べ75百万円の減少）となりました。これは主に、借入金50百万円の返済による支出があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は、平成25年11月8日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度におきまして4期連続営業損失を計上しましたが、当第2四半期におきましては課題克服のための諸施策が奏効し、黒字転換いたしました。

しかしながら、未だ風評被害の影響が残る主力ホテルは震災前水準への回復には至っておらず、第2四半期におきましても補償として東京電力株式会社へ13百万円請求いたしております。

このような状況からの早期脱却を図るべく、引続き営業強化に向けた諸施策の実施、人件費・経費の見直し・圧縮によるキャッシュ・フローの創出等業績の回復に取り組んでまいります。

また、金融機関の支援体制も得ており、改革を着実に実行していくことにより業績と信頼の回復に努めてまいります。

これらの対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	550,583	744,937
受取手形及び売掛金	154,741	147,002
たな卸資産	※1 47,767	※1 51,570
未収入金	100,675	23,228
その他	67,735	75,332
貸倒引当金	△307	△204
流動資産合計	921,194	1,041,865
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,166,417	12,176,131
減価償却累計額	△8,369,841	△8,470,472
建物（純額）	3,796,576	3,705,658
構築物	519,826	519,826
減価償却累計額	△466,105	△468,017
構築物（純額）	53,721	51,809
機械及び装置	227,936	227,540
減価償却累計額	△203,399	△202,471
機械及び装置（純額）	24,537	25,068
車両運搬具	38,090	35,169
減価償却累計額	△30,677	△28,622
車両運搬具（純額）	7,413	6,546
工具、器具及び備品	846,489	849,307
減価償却累計額	△769,661	△771,865
工具、器具及び備品（純額）	76,828	77,442
土地	1,086,529	1,086,529
リース資産	62,160	66,640
減価償却累計額	△39,636	△45,740
リース資産（純額）	22,524	20,900
建設仮勘定	—	35,700
有形固定資産合計	5,068,130	5,009,656
無形固定資産		
投資その他の資産	27,741	26,479
投資有価証券	118,689	119,543
差入保証金	240,305	240,152
保険積立金	143,150	143,150
その他	33,906	30,783
貸倒引当金	△7,007	△7,004
投資その他の資産合計	529,043	526,625
固定資産合計	5,624,915	5,562,760
資産合計	6,546,110	6,604,626

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	78,552	110,319
短期借入金	3,917,200	3,898,262
1年内返済予定の長期借入金	677,083	646,012
未払金	22,204	10,496
未払費用	210,362	207,419
未払法人税等	12,251	16,763
未払消費税等	20,885	20,168
賞与引当金	—	22,423
その他	135,704	117,970
流動負債合計	5,074,243	5,049,837
固定負債		
繰延税金負債	13,176	13,193
退職給付引当金	159,906	156,733
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	552,342	546,742
その他	20,781	17,651
固定負債合計	763,997	752,111
負債合計	5,838,240	5,801,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△441,667	△346,864
自己株式	△3,682	△3,715
株主資本合計	679,998	774,769
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,870	27,907
評価・換算差額等合計	27,870	27,907
純資産合計	707,869	802,677
負債純資産合計	6,546,110	6,604,626

（2）四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
営業収益	1,688,062	1,952,133
営業費用	※1 1,727,794	※1 1,872,439
営業利益又は営業損失（△）	△39,732	79,693
営業外収益		
受取保険金	3,269	404
助成金収入	3,628	500
その他	7,027	8,785
営業外収益合計	13,924	9,690
営業外費用		
支払利息	50,575	47,556
その他	100	456
営業外費用合計	50,676	48,013
経常利益又は経常損失（△）	△76,484	41,370
特別利益		
受取補償金	148,948	67,010
特別利益合計	148,948	67,010
特別損失		
固定資産売却損	—	70
固定資産除却損	233	2,176
損害賠償金	9,300	—
特別損失合計	9,533	2,247
税引前四半期純利益	62,929	106,133
法人税、住民税及び事業税	4,216	11,330
法人税等合計	4,216	11,330
四半期純利益	58,712	94,803



（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	62,929	106,133
減価償却費	125,744	121,557
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9	△105
賞与引当金の増減額（△は減少）	14,031	22,423
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△9,717	△3,173
受取利息及び受取配当金	△755	△877
支払利息	50,575	47,556
受取補償金	△64,890	△13,739
固定資産除売却損益（△は益）	233	2,247
売上債権の増減額（△は増加）	22,727	7,739
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,928	△3,803
前払費用の増減額（△は増加）	△6,111	△5,227
未収入金の増減額（△は増加）	48,742	91,186
仕入債務の増減額（△は減少）	28,427	31,767
未払金の増減額（△は減少）	△1,875	△793
未払費用の増減額（△は減少）	△6,278	△2,859
未払消費税等の増減額（△は減少）	14,156	△716
前受金の増減額（△は減少）	△31,117	△18,867
預り金の増減額（△は減少）	3,086	3,702
預り保証金の増減額（△は減少）	△10,933	△5,600
その他	△3,459	2,419
小計	237,435	380,970
利息及び配当金の受取額	513	602
利息の支払額	△52,284	△52,858
法人税等の支払額	△8,524	△8,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,140	320,281
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,550	△77,797
固定資産の売却による収入	—	65
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
差入保証金の回収による収入	—	79
その他の支出	△22	—
その他の収入	4,393	2,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,779	△75,886
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△47,343	△18,937
長期借入金の返済による支出	△77,676	△31,070
自己株式の取得による支出	△28	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,048	△50,040
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	34,312	194,353
現金及び現金同等物の期首残高	616,298	550,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 650,610	※1 744,937

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,310,808	308,733	1,619,541	68,520	1,688,062	—	1,688,062
セグメント利益 又は損失 (△)	△17,192	21,643	4,451	△11,959	△7,508	△32,224	△39,732

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△32,224千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,550,161	329,726	1,879,888	72,245	1,952,133	—	1,952,133
セグメント利益 又は損失 (△)	79,830	33,417	113,248	△2,742	110,506	△30,812	79,693

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△30,812千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。